

イノシシによる農作物への被害対策 ～ 益子町西明寺地区での取組 ～

近年、イノシシなど野生獣による被害が地域住民の生活環境に悪影響をもたらしており、栃木県でもイノシシによる農作物被害が深刻化し、地域に暮らす方々にとって大きな課題となっています。

このため、益子町西明寺地区では、イノシシによる被害に地域住民自らが立ち向かい、被害軽減に向けた取り組みを開始しました。

西明寺地区イノシシ被害の現状

益子町の南部に位置する西明寺地区は、里山に囲まれた穏やかな農村ですが、ここ数年、イノシシによる農作物被害が深刻化しています。

度重なる被害により、やむなく耕作をあきらめざるを得ないところもあります。

【イノシシにより被害を受けた農作物(西明寺地区)】



イノシシ被害を防ぐための取組

このような状況を受け、西明寺地区ではイノシシによる農作物被害を撲滅すべく、平成26年度から地区住民が協力・団結し、地区住民自らが主体となって、被害対策への取り組みを開始しました。

被害状況調査の実施 ～ センサーカメラ ～

被害対策に取り組むに当たり、栃木県が鳥獣管理士の協力を得て、地区内の主要な箇所センサーカメラを設置しました。

鳥獣管理士： 鳥獣害の専門的な知識と技術を備えた人材育成を目的に、県と宇都宮大学が連携して開講した「里山野生鳥獣管理技術者養成プログラム」の修了者で、（一社）鳥獣管理技術協会が認定した「鳥獣被害対策のスペシャリスト」です。

センサーカメラには・・・、



続々と・・・



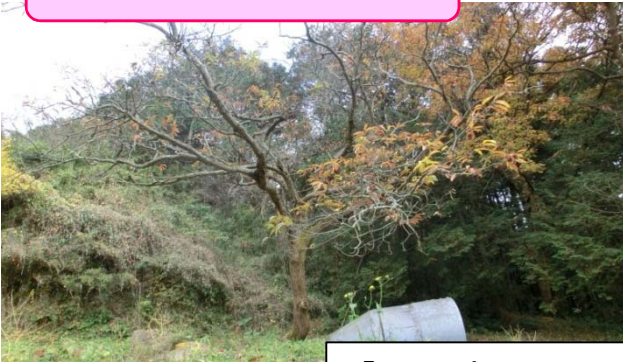
被害状況調査の実施 ～ 集落点検 ～

センサーカメラによるイノシシの出没状況を把握した後、被害がどこで起きているか、被害を起こす要因は何か、について地区住民が共通の理解を得るため、鳥獣管理士の指導のもと、被害状況の調査と集落点検を実施しました。



集落点検： 住民みんなで集落を歩いて、イノシシの隠れ場所（やぶ、竹林、耕作放棄地など）やエサとなっているもの（被害作物、カキ、クリなど）、またイノシシの出没痕跡や既存の対策（柵の位置など）を確認し、それらを1枚の大きな地図にまとめ、調査結果を「見える化」します。

▶ 集落点検の結果



【クリの実はいノシシの絶好のエサ！】



【イノシシの出没ルート確認】

集落点検結果のまとめ ～ 学習会の開催 ～

集落点検を実施した結果を地図にまとめ、被害場所、被害を起こす要因などを分析するとともに、イノシシの生態や習性等についての知識を得るため、地域住民による学習会を開催し、被害対策計画を検討しました。



約半年にわたり、地区住民が主体となり、鳥獣管理士や町、県などの関係者が協力して被害対策の検討に取り組みました。



被害対策の実施 ～ 電気柵設置 ～

【西明寺地区全体を住民が協力・協調してイノシシ被害から守る。】

この目標の実現に向け、これまで実施してきたセンサーカメラ、集落点検、学習会などの結果をもとに、被害対策計画の検討・とりまとめを行いました。



被害対策計画として、農地へのイノシシの侵入を防ぐワイヤーメッシュ柵^{※1}を総延長約1,000m、電気柵^{※2}を総延長約7,000m設置することとし、併せてイノシシの隠れ場所となるヤブの刈り払いを実施することとしました。

※1
ワイヤー
メッシュ 柵 : 直径5mm程度の鋼線を溶接した金網を鉄筋支柱等に針金で結束した柵。金属の金網でイノシシの進入を抑止するため、確実な防除効果が期待でき、設置後のメンテナンスが比較的容易。一方で、電気柵に比べ資材費用や設置労力がかかる。



※2
電気柵 : 金属線を編み込んだ電牧線に電流を流し、線に触れたイノシシが感電ショックを受けることで柵内への侵入を防ぐ。電牧線の設置は比較的容易だが、線付近の刈り払いや通電状況の確認など日ごろのメンテナンスが必要。当然感電による人への危険を及ぼさないよう、法令の規定を遵守するとともに、注意表示等を十分行う。



電気柵の設置を実施！

いよいよ電気柵の設置です。平成27年8月9日(日)、西明寺地区の関係者総出で、約7,000mの電気柵設置作業に取り組みました。



朝7時に全員集合



電気柵設置の注意事項を確認



作業班ごとに電気柵設置箇所を確認



設置作業開始 支柱打ち込み



支柱設置完了



電牧線を伸ばしていきます



支柱に電牧線を架設



注意表示を掲示して完了

地区全体を挙げて設置作業を行い、無事予定どおり約7,000mの電気柵設置を当日のうちに完了することができました。



電気柵の設置は被害対策の終了ではなく、始まりです。西明寺地区では、これからも地区住民が一体となり、協力・協調してイノシシの被害から地域を守る取り組みを進めていきます。